

# 名古屋市感染症発生動向調査情報

2019年第51週(12月16日～12月22日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2019年(令和元年)12月25日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

## ◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- インフルエンザの患者報告数の増加が続いており、本市における第51週(12月16日～12月22日)の定点当たり患者報告数は19.17人で、前週(10.64)より増加しました。
- 西区、南区、天白区では定点当たり患者報告数が、国立感染症研究所が定める警報の指標である「30」を上回っており、千種区を始め12区では注意報の指標である「10」を上回っています。また、愛知県では12月19日にインフルエンザ警報が発令されています。
- インフルエンザの流行が例年より早く、過去の同週(第51週)との比較では、過去10年で患者報告数が最多となっています。
- 本市において集団かぜによる学級閉鎖等の措置が実施された施設数は、9月9日以降12月19日までに117施設報告されており、昨年同時期の35施設を大きく上回っています。
- 2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。また、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。
- インフルエンザはこれから流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合がありますので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いを行い、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の10.6人から19.2人に増加しました。過去3年の同一週の平均との比較では1.9倍多い報告数になりました。
- RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は、前週の0.3人から0.5人に増加しました。
- 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、前週の2.7人から3.7人に増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019年 第51週	2類	結核	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、83歳、結核性胸膜炎</li> <li>・女性、87歳、結核性脊椎炎</li> <li>・男性、66歳、肺結核</li> <li>・男性、88歳、肺結核</li> <li>・男性、56歳、肺結核</li> <li>・女性、82歳、肺結核</li> <li>・男性、33歳、肺結核</li> <li>・女性、0歳、無症状病原体保有者</li> </ul>
2019年 第51週	5類	急性脳炎	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性、3歳、インフルエンザウイルスA型</li> <li>・女性、7歳、インフルエンザウイルスA型</li> </ul>
2019年 第51週	5類	後天性免疫不全症候群	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、44歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内</li> <li>・女性、26歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：不明</li> </ul>
2019年 第51週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、63歳、菌検出検体：血液</li> <li>・女性、70歳、菌検出検体：血液</li> <li>・女性、65歳、菌検出検体：血液、髄液</li> </ul>
2019年 第51週	5類	破傷風	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、56歳</li> </ul>
2019年 第51週	5類	梅毒	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、32歳、早期顕症梅毒（1期）</li> <li>・男性、24歳、早期顕症梅毒（2期）</li> <li>・女性、54歳、早期顕症梅毒（2期）</li> </ul>
2019年 第51週	5類	風しん	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、22歳、検査診断例、感染地域：不明</li> <li>・男性、21歳、検査診断例、感染地域：愛知県</li> <li>・男性、29歳、検査診断例、感染地域：不明</li> </ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 50 週	2 類	結核	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 男性、78 歳、肺結核</li> <li>• 男性、71 歳、無症状病原体保有者</li> </ul>
2019 年 第 50 週	5 類	後天性免疫不全症候群	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 男性、37 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：タイ</li> <li>• 男性、66 歳、無症状病原体保有者、感染経路：不明、感染地域：国内</li> </ul>
2019 年 第 50 週	5 類	梅毒	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 男性、43 歳、早期顕症梅毒（2 期）</li> <li>• 男性、34 歳、早期顕症梅毒（2 期）</li> <li>• 男性、50 歳、早期顕症梅毒（2 期）</li> </ul>
2019 年 第 49 週	5 類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 男性、31 歳、早期顕症梅毒（1 期）</li> </ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2019 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	591（165） [2] [0] [2]
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	4
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45（10）
3 類感染症	腸チフス	1

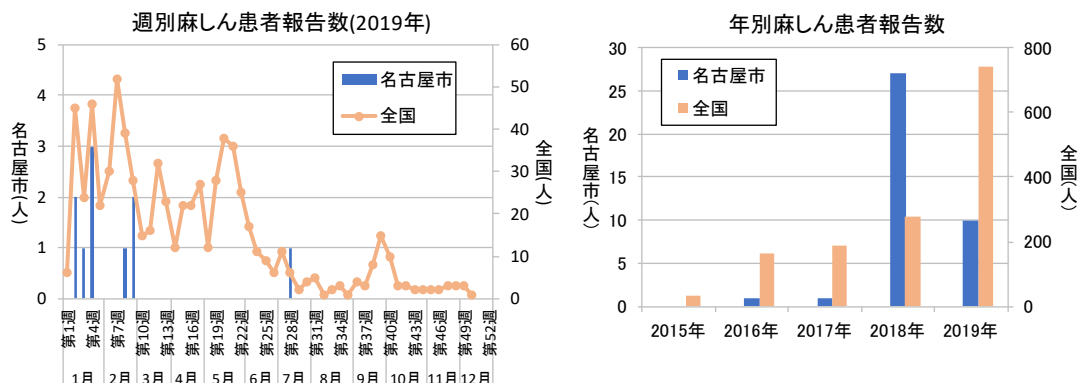
3 類感染症	パラチフス	1
4 類感染症	E 型肝炎	2
4 類感染症	A 型肝炎	5
4 類感染症	チクングニア熱	3
4 類感染症	デング熱	9
4 類感染症	マラリア	1
4 類感染症	レジオネラ症	40
5 類感染症	アメーバ赤痢	20
5 類感染症	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	4
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	55【1】
5 類感染症	急性弛緩性麻痺	3
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	19【1】
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	2
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	30【1】
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	71 (55) <1>
5 類感染症	ジアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	5
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	87【1】
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	7
5 類感染症	梅毒	204 (70)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	3
5 類感染症	破傷風	2
5 類感染症	百日咳	263
5 類感染症	風しん	24
5 類感染症	麻しん	10

累計は 2019 年第 1 週からの診断週による累計、( ) 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[ ] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、< > 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年12月25日作成〕



週別麻しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)	第8週 (2/18～ 2/24)	第9週 (2/25～ 3/3)	第28週 (7/8～ 7/14)	第51週(12月22日) までの合計(人)
		2	1	3	1	2	

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

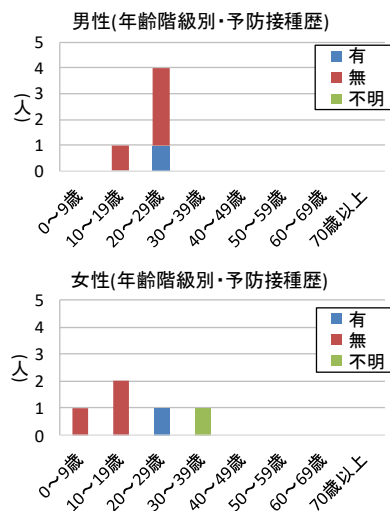
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	742※2

※1: 第51週(12月22日)まで ※2: 第50週(12月15日)まで

麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

		予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳				0
	10～19歳		1		1
	20～29歳	1	3		4
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	4	0	5
女性	0～9歳		1		1
	10～19歳		2		2
	20～29歳	1			1
	30～39歳			1	1
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	3	1	5
	総計(人)	2	7	1	10

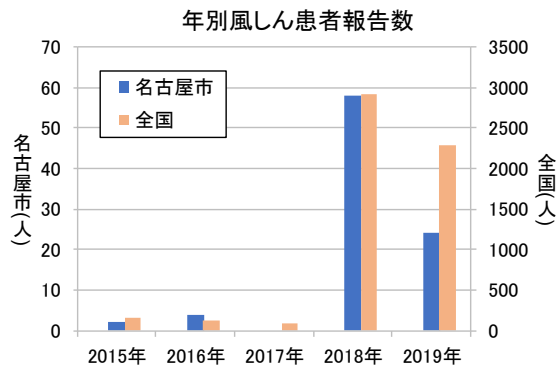
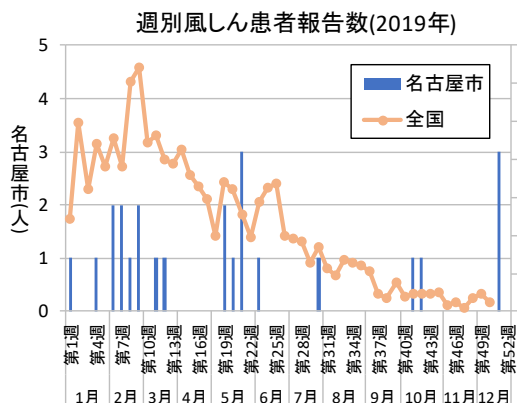


麻しん患者情報(2019年名古屋市)

No.	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.8	7歳	女	無	不明	不明
2	2019.1.10	20歳代	男	無	無	国内(三重県)
3	2019.1.19	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
4	2019.1.21	10歳代	女	無	有	フィリピン
5	2019.1.22	10歳代	女	無	有	フィリピン
6	2019.1.25	20歳代	男	有	無	国内(三重県、愛知県)
7	2019.2.20	10歳代	男	無	無	国内(愛知県)
8	2019.3.1	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
9	2019.3.2	30歳代	女	不明	無	国内(愛知県)
10	2019.7.11	20歳代	女	有	無	国内(不明)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2019年12月25日作成〕



週別風しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第1週 (12/31～ 1/6)	第4週 (1/21～ 1/27)	第6週 (2/4～ 2/10)	第7週 (2/11～ 2/17)	第8週 (2/18～ 2/24)	第9週 (2/25～ 3/3)	第11週 (3/11～ 3/17)	第12週 (3/18～ 3/24)	第51週(12月22日)ま での合計(人)
		1	1	2	2	1	2	1	
	第19週 (5/6～ 5/12)	第20週 (5/13～ 5/19)	第21週 (5/20～ 5/26)	第23週 (6/3～ 6/9)	第30週 (7/22～ 7/28)	第41週 (10/7～ 10/13)	第42週 (10/14～ 10/20)	第51週 (12/16～ 12/22)	24
	2	1	3	1	1	1	3		

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

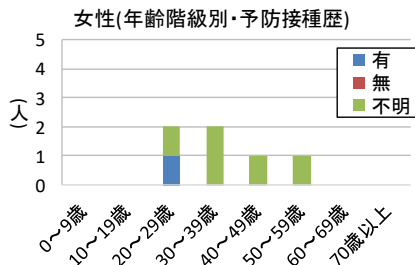
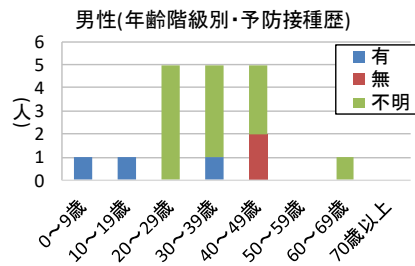
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	24※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	53※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2941	2288※2

※1: 第51週(12月22日)まで ※2: 第50週(12月15日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

		予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳	1			1
	20～29歳			5	5
	30～39歳	1		4	5
	40～49歳		2	3	5
	50～59歳				0
	60～69歳			1	1
	70歳以上				0
	計(人)	3	2	13	18
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳	1		1	2
	30～39歳			2	2
	40～49歳			1	1
	50～59歳			1	1
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	5	6
	総計(人)	4	2	18	24



風しん患者情報(2019年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.4	40歳代	男	不明	無	国内(静岡県)
2	2019.1.21	60歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
3	2019.2.8	30歳代	男	不明	無	不明
4	2019.2.9	20歳代	女	不明	無	不明
5	2019.2.12	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県、東京都)
6	2019.2.15	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
7	2019.2.23	40歳代	女	不明	無	国内(愛知県、大阪府)
8	2019.3.1	30歳代	男	不明	無	不明
9	2019.3.2	30歳代	男	有	無	国内(大阪府)
10	2019.3.11	40歳代	男	無	無	国内(愛知県、岐阜県)
11	2019.3.18	40歳代	男	無	有	国内(愛知県、兵庫県、大阪府)、オーストラリア
12	2019.5.6	20歳代	女	有	無	国内(愛知県)
13	2019.5.10	30歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
14	2019.5.17	30歳代	女	不明	無	国内(愛知県)
15	2019.5.20	20歳代	男	不明	無	国内(東京都、愛知県、大阪府)
16	2019.5.23	1歳	男	有	無	国内(愛知県)
17	2019.5.25	10歳代	男	有	無	不明
18	2019.6.4	50歳代	女	不明	無	国内(愛知県)
19	2019.7.26	30歳代	女	不明	無	国内(愛知県)
20	2019.10.11	20歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
21	2019.10.18	30歳代	男	不明	無	不明
22	2019.12.18	20歳代	男	不明	不明	国内(愛知県)
23	2019.12.18	20歳代	男	不明	不明	不明
24	2019.12.20	20歳代	男	不明	不明	不明

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成20年1月1日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>)をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：A型 17名	定点医療機関(千種区)
インフルエンザ：A型 44名	定点医療機関(千種区)

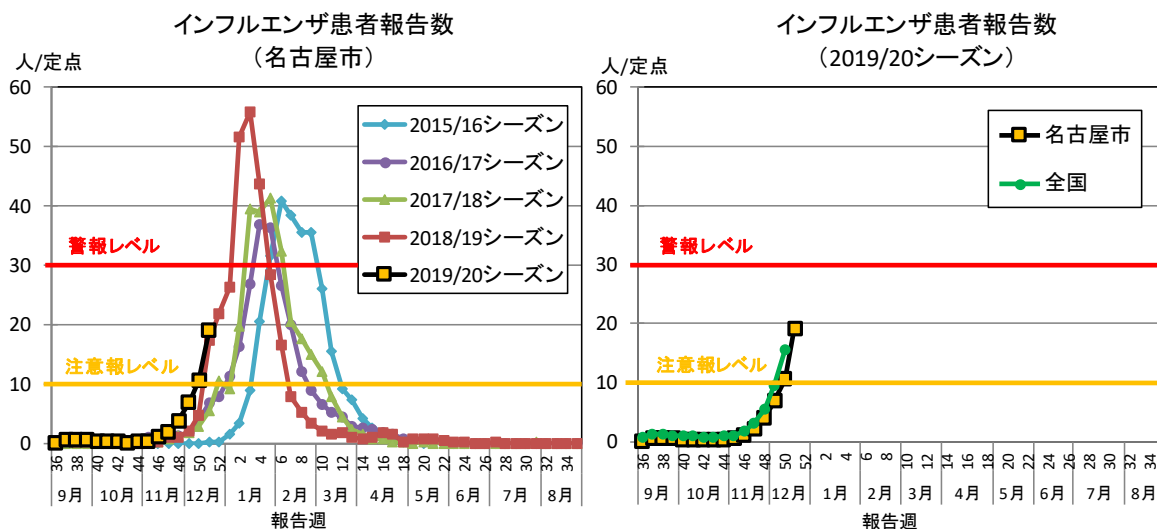
インフルエンザ：A型27名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ全員A型でした	定点医療機関（東区）
マイコIgM陽性 2Y Male 8Y Female 10Y Male	定点医療機関（東区）
インフルエンザA型：2名	定点医療機関（北区）
インフルエンザすべてA型	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型38名、B型1名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型12名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型15名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型6名、B型1名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型：25名、インフルエンザB型：1名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：13名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：31名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：4名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：11名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：16名、インフルエンザB型：1名	定点医療機関（昭和区）



インフルエンザA型：10名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：9人	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型 3名	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：7名、B型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：24名、B型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型3名、インフルエンザB型3名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型11名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型男性77名女性44名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型男性3名女性6名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型5名B型2名	定点医療機関（南区）
A型 18名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型7名@インフルエンザB型1名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザはすべてA型	定点医療機関（緑区）
すべてインフルエンザA型でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型10名でした。	定点医療機関（名東区）
A型インフルエンザ15名・乳児から成人まで散在	定点医療機関（天白区）

インフルエンザ48人全員A型	定点医療機関（天白区）
水痘 ワクチン1回スミの児1人	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2019年12月25日作成〕



※名古屋市は2019年第51週、全国は2019年第50週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

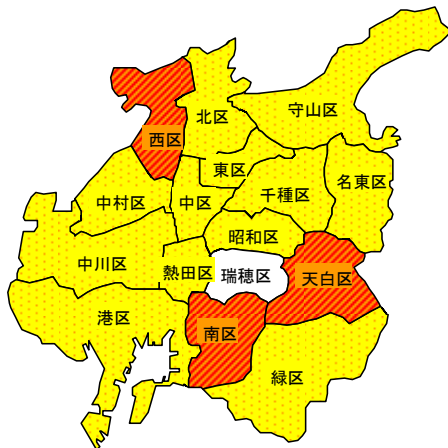
	第44週 (10/28～ 11/3)	第45週 (11/4～ 11/10)	第46週 (11/11～ 11/17)	第47週 (11/18～ 11/24)	第48週 (11/25～ 12/1)	第49週 (12/2～ 12/8)	第50週 (12/9～ 12/15)	第51週 (12/16～ 12/22)
名古屋市	0.40	0.49	1.16	2.10	3.97	6.93	10.64	19.17
名古屋市 (2018/19)	0.11	0.44	0.30	1.00	1.16	2.04	4.86	17.34
愛知県	0.58	0.80	1.92	3.27	5.48	9.96	16.53	—
全国	0.95	1.03	1.84	3.11	5.52	9.52	15.62	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準  
 ※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第51週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	110	59	92	125	100	70	51	34	71	67	44	150	124	53	71	121	1342
定点当たり 患者報告数(人)	22.0	14.8	18.4	31.3	20.0	17.5	10.2	6.8	17.8	16.8	11.0	37.5	24.8	13.3	17.8	30.3	19.17

インフルエンザ



2019年第51週

注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	白
注意報レベル	黄
警報レベル	赤

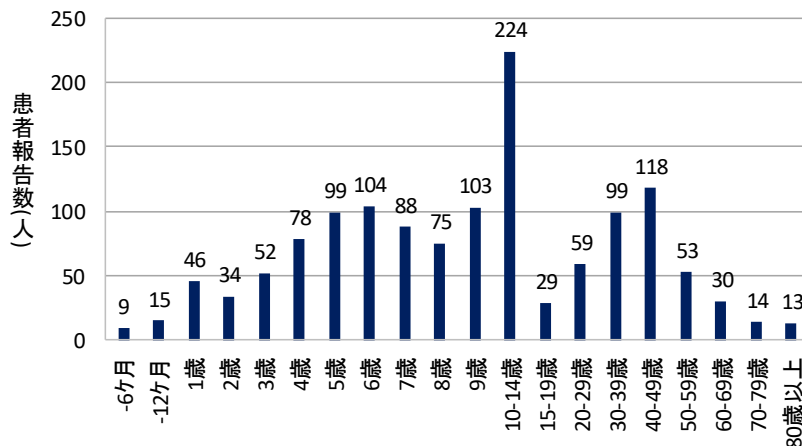
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル		警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値	
10	30	10	

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合  
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、  
 10未満となるまで

## 年齢階級別患者報告数

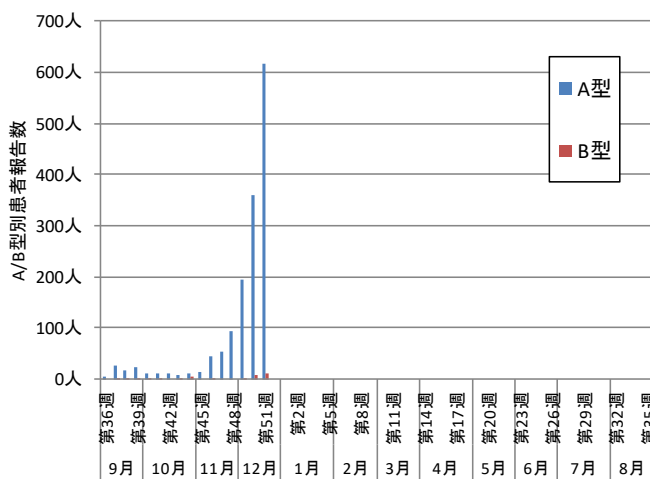
定点からのインフルエンザの  
年齢階級別患者報告数(第51週)



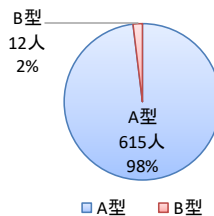
## インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2019年第51週は、インフルエンザA型615人、インフルエンザB型12人でした。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型1490人(98%)、B型38人(2%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に多く検出されています。

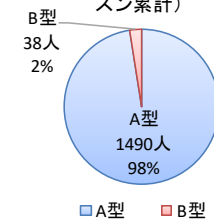
インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン)  
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(第51週)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2019/20シーズン累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

◆2019年第51週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2019年第51週(2019年12月16日～12月22日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	110	59	92	125	100	70	51	34	71	67	44	150	124	53	71	121	1342	1.8	1.9
○RSウイルス感染症			2	7	3			1		3		10	3		4		33	1.8	1.7
○咽頭結膜熱	2	6	1	7						5		2	1		4	4	32	1.0	1.9
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	8		20	2	3	1		1	7	25	10	15	4	12	9	126	1.0	1.8
○感染性胃腸炎	15	4	47	14	16	9	16			11	36	20	21	11	25	13	258	1.4	0.5
○水痘	4			5						3			1	1	1	2	17	0.5	0.7
○手足口病	2		1	4	2				1	5			3	1	2	1	22	0.6	1.7
○伝染性紅斑	4	1		4		2				2	1		8	3	3	2	30	0.7	3.5
○突発性発疹	2	1								4			1	1	1		10	1.4	0.9
○ヘルパンギーナ										2							2	0.3	3.0
○流行性耳下腺炎			1	1					1								3	1.5	0.6
△急性出血性結膜炎																	0		0.0
△流行性角結膜炎																	0		0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		0.0
◇マイコプラズマ肺炎							7										7	7.0	5.3
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	148	79	144	187	123	84	75	35	74	109	106	192	177	74	123	152	1882		

\*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2019年第51週(2019年12月16日～12月22日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	22.0	14.8	18.4	31.3	20.0	17.5	10.2	6.8	17.8	16.8	11.0	37.5	24.8	13.3	17.8	30.3	19.2
RSウイルス感染症			0.4	1.8	0.6			0.2			0.8		2.5	0.6		1.0	0.5
咽頭結膜熱	0.4	1.5	0.2	1.8						1.3			0.5	0.2		1.0	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.8	2.0		5.0	0.4	0.8	0.2		0.3	1.8	6.3		2.5	3.0	1.0	3.0	2.3
感染性胃腸炎	3.0	1.0	9.4	3.5	3.2	2.3	3.2			2.8	9.0		5.0	4.2	2.8	6.3	3.3
水痘	0.8			1.3						0.8				0.2	0.3	0.3	0.5
手足口病	0.4		0.2	1.0	0.4				0.3	1.3				0.6	0.3	0.5	0.3
伝染性紅斑	0.8	0.3		1.0		0.5				0.5	0.3			1.6	0.8	0.8	0.5
突発性発疹	0.4	0.3								1.0				0.2	0.3	0.3	0.1
ヘルパンギーナ										0.5							0.0
流行性耳下腺炎			0.2	0.3					0.3								0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■太字の数字は流行発生警報

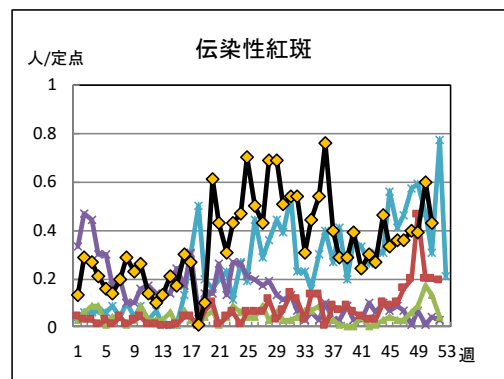
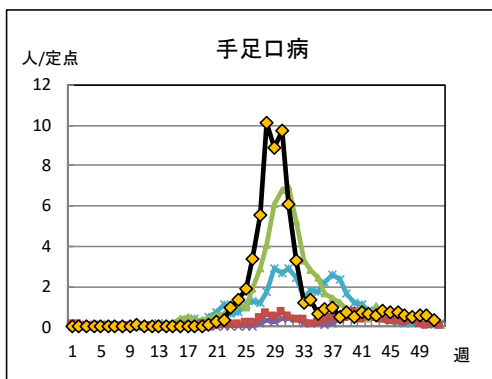
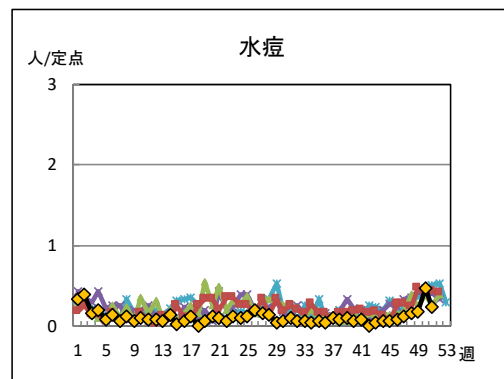
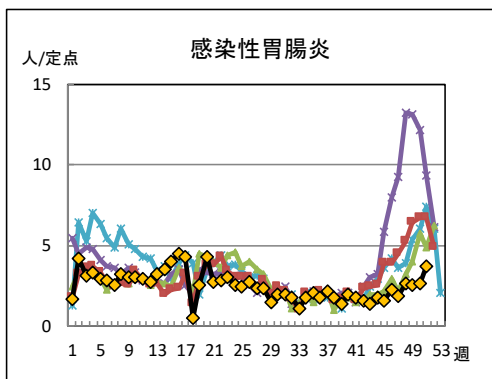
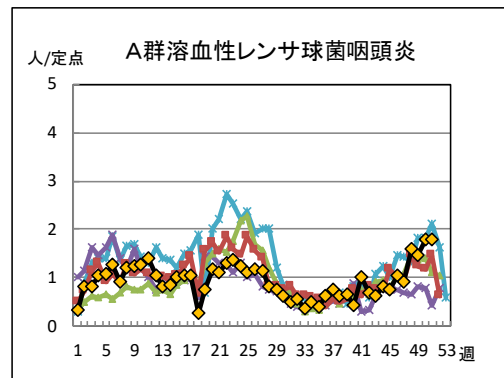
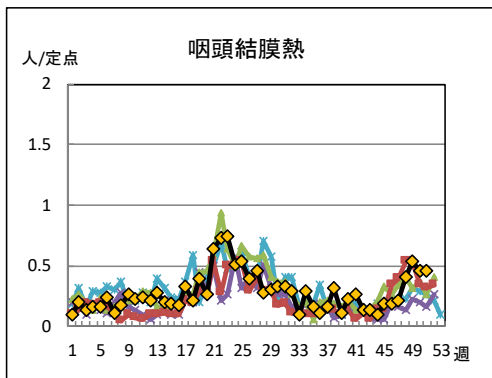
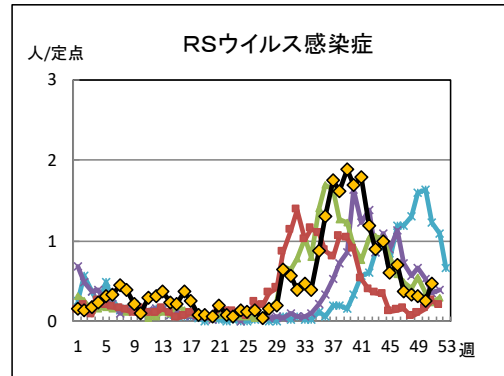
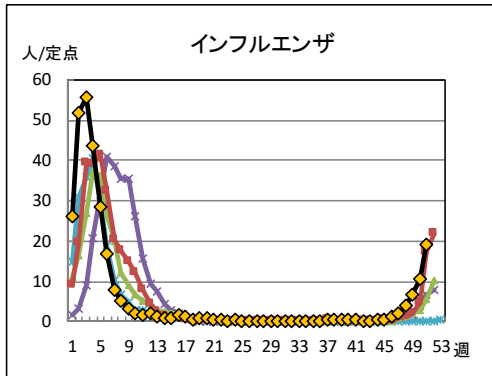
■斜体の数字は流行発生注意報

■警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2019年第51週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2019年第51週まで

